

		事務事業No.		11-	9
事業名	観光振興事業	会計	款	項	目
		一般	7	1	1
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	産業課		
施 策	3-7 観光の振興	係名	産業振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	観光振興会等	目的（対象がどのような状態になっているか）	観光振興会等の自主活動組織の組織体制強化を図り、観光を通して東員町を広く情報発信します。
事業内容		観光振興事業・・・観光集客ができるイベントの企画の提案・運営、特産品の開発など行える組織づくりを行い、本町の観光戦略を図ります。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	特産品の登録数	15	16	19	品	↑	20	
	2	中部公園イベント数	0	1	2	件	↑	8	
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				1,994		3,820		4,383	
財源 内訳	直接事業費A			344		340		333	
	うち一般財源			344		340		333	
人件費（千円）B				1,650		3,480		4,050	
内訳	一般職員（人・千円）			0.25	1650	0.5	3,300	0.6	3,960
	臨時職員（人・千円）			0	0	0.1	180	0.05	90

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	・観光誘客のための自主活動組織の強化と、中部公園を中心とした観光誘客を行うとともに、特産品認定商品等の販売促進を行う。 ・西美濃・北伊勢観光サミット開催地として町をPRする。	③取組の課題	・観光地域づくりを担う活動組織が十分でない。 ・地域の人に魅力を感じて貰えるような魅力ある観光資源の発掘。 ・情報提供、情報発信が十分に行っていない。
②R5年度に実施した取り組み	・観光振興会主催の年2回のTOINマルシェ開催の支援 ・西美濃北伊勢観光サミット開催地として、商工祭と同時開催で町のPRを実施 ・特産品を6品認定 (新規4品、更新2品) ・各種イベントで町 (特産品含む) のPR	④今後の改善計画	・観光地域づくりに関係する観光振興会などの活動組織の支援。 ・中部公園を中心としたTOINマルシェなどのイベントを充実させる。 ・広域観光団体と連携し、幅広く町のPRを行う。